

一般質問通告一覧表

平成31年3月

質問 順位	会派名 (質問制限時間)	質問者	質問項目
1	いなべ未来 (60分)	岡 英昭	<p>1. 統一地方選挙の年にあたり市長の市政への意欲を問う 現時点で市長としての来年度市政への意欲を問う。</p> <p>2. 祝日・休日の増加となる来年度の授業時数確保と学力の維持・向上対策は。 (1) これまで学校行事等はどうのような見直しをしたのか。 (2) 来年度の学校行事等の見直し予定は。 (3) 来年度の長期休業日（夏休みか冬休み・春休み）の短縮は考えているか。 (4) 教員の働き方改革で今後増加するであろう休暇等社会情勢の変化に対応した学力維持・向上対策は。 (5) その他に新たな授業時数確保、学力維持・向上の方策や考えを。</p> <p>3. 上水道の水源地の恒久的な安心・安全確保策は (1) 把握しているいなべ市の水源地とその周囲の土地の現状を問う。 (2) 水源地周囲での土地売買の実績は把握しているか。 (3) 住民の水に対する恒久的な安心や水源地を守るための当てはまる規制（法律、政令、条例等）はあるのか。 (4) 今後予想される水源地周辺の土地の売買を防止する対策は。 (5) 住民の生命網である上水道を、将来的に住民の安心につながる水道施設を考えたことはあるか。将来に亘った検討としてどのような策を練っているか。</p>
2		篠原史紀	<p>1. いなべ市創生のために先人が残した文化財の積極的活用を (1) 賑わいを創生している桐林館の活用及び保護について (2) 国の法改正を受けて、市内の文化財保護と活用方針について質す。</p> <p>2. 独居高齢者の安心な暮らしを守るための政策強化を (1) 現在の市内の独居高齢者の実情と今後の予測は (2) 独居高齢者の激増という現実をしっかりと受け止めた上で具体的な対策を。</p> <p>3. 少子高齢化と個人主義時代での自治会の維持について (1) 少子高齢化時代の自治会及び住民自治の持続可能性について (2) 自治会運営及び住民自治に関して若い世代への教育・行政からのフォローについて</p>
3	創風会 (120分)	片山秀樹	<p>1. 本格導入されたICT教育についてあらためて問う (1) 先行した十社小学校の成果と課題は。 (2) ICT教育の機器とシステムは企業と市が十社小で実証されているがそれを活用する教員への教育や支援はどうやって取り組んでいるのか。 (3) 今後ICT教育を活用してどのような小学生児童、あるいは中学生生徒を目指しているのか。</p> <p>2. 認知症対応について問う (1) これからも増えることが予想される認知症に対して市としての基本的なスタンス及び対策は。 (2) 地域で認知症の方を見守っていく体制の第一歩として「徘徊 SOS ネットワーク」がある。このネットワークに協力する企業、金融機関、店舗などの最新の数値、実績、今後の展開と課題は。 (3) 認知症の方が事故を起こし、第三者に損害を与えた場合に、公費で賠償保険料金を支払い、支援している自治体があるが、いなべ市での考えはどうか。</p> <p>3. 水道事業について問う (1) 水源地を外国企業から守る意識と方法はとっているのか。 (2) いなべ市は将来的に民営化に対しての考えはあるのか。</p>

質問 順位	会派名 (質問制限時間)	質問者	質問項目
4	政和会 (120分)	西井真理子	<p>1. 地域おこし協力隊事業について</p> <p>(1) 募集時から任期終了までのサポート体制は</p> <p>(2) 隊員の管理方法は</p> <p>(3) 隊員の満足度は</p> <p>(4) これまでの特徴的な成果、実績は</p> <p>(5) 定住まで至った隊員数は</p> <p>(6) 現在の課題は</p> <p>2. こども虐待予防のためネウボラ事業を</p> <p>(1) 妊娠時期からおこなっているサポートは</p> <p>(2) 相談体制を小さい規模で身近につくる考えは</p> <p>3. 新庁舎完成にあたり4町に役割りを</p> <p>(1) 旧庁舎の具体的なランニングコストは</p> <p>(2) 旧庁舎の利活用の内容はいつ決定されるのか</p> <p>(3) これからのいなべ市の構想は</p>
5		新山英洋	<p>1. 畜産伝染病への対策は</p> <p>(1) いなべ市にとっての家畜産業の位置づけは</p> <p>(2) 発生を防ぐための対策</p> <p>(3) 万が一発生した場合の対応と支援</p> <p>2. 新しく開通する高速道路がもたらす経済効果</p> <p>(1) 大安インターチェンジへのアクセス道路の整備は</p> <p>(2) 企業誘致および観光事業の今後の計画は</p>
6	かがやき (120分)	近藤英昭	<p>1. 大規模災害の備えについて</p> <p>(1) 災害拠点病院での受け入れ態勢は</p> <p>(2) 防災拠点施設が完成した折に、医療機関を含めた訓練を実施する計画は。</p> <p>2. 員弁コミュニティプラザを小ホールに</p> <p>(1) 現在の各文化センター、公民館で、小規模の演奏会(200人規模)をしたいグループ、団体へ推奨している施設はどこか。</p> <p>(2) 員弁コミュニティプラザを改装する考えは。</p> <p>3. ほくせい保育園前の歩道について</p> <p>ほくせい保育園前の市道阿第107号線について、新庁舎開庁後は来庁する車が増えることが予想されます。歩道を整備する計画は。</p>
7		神谷 篤	<p>1. 豚コレラの感染予防について</p> <p>(1) 市内の養豚農家の実態について。</p> <p>(2) 対応は県になっているが、現在、市として取り組んでいることは。</p> <p>(3) 今後の課題として考えていることは。</p> <p>2. 委託団体等への助成金について</p> <p>(1) 行政に代わって、地域の将来を担う子どもたちの活動、居場所づくりを提供する団体に対して、市はどのような位置づけをしているのか。</p> <p>(2) どういう経過で各団体等への「助成金削減」を宣告するに至ったのか。各団体と十分な話し合いが成されていたか。</p> <p>(3) 削減する場合、各委託団体が受ける影響をどう考えているのか。</p> <p>3. 水道部局の北勢庁舎残留について</p> <p>(1) 先日の市民大学講座(川口氏)での『南海トラフ大地震への備え』をどう受け止めたのか。</p> <p>(2) 『みえの防災』の『三重県内活断層図(北勢地域)』を見て、どう思うか。活断層が直下に走っている北勢庁舎に水道部を残すことに、何の不安も感じないのか。</p> <p>(3) 当初「新庁舎に」との計画であった水道部。北勢庁舎へ残留すると示された後、疑問の声も上がっている。計画どおり遂行するための努力はされたか。</p>

質問 順位	会派名 (質問制限時間) ※答弁時間含む	質問者	質問項目
8	日本共産党 いなべ市議団 (60分)	岡 恒和	<p>1. 土砂災害防止対策等は十分になされているか</p> <p>(1) 藤原岳に設置されている砂防えん堤、遊砂地はどのように管理されているか。</p> <p>(2) ワイヤセンサー、監視カメラの活用はどのようにされているか。</p> <p>(3) 土砂災害防止法第7条3項では、人的被害を防止するため、市町村長は市町村地域防災計画に基づいて措置を講じることとなっている。どのような措置がされているか。</p> <p>(4) いなべ市のホームページには、「いなべ市防災ハザードマップ」がリンクされているが平成21年に作成されている。更新の必要はないのか。</p> <p>(5) 土砂災害特別警戒区域では、①特定開発行為に対する許可制、②構造物の構造規制などが行なわれ、土地の評価額が下がる。固定資産税の減価対象にはならないのか。</p> <p>(6) 平成29年の法改正では、土砂災害警戒区域内の要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び避難訓練の実施が義務付けされた。実施状況はどうか。</p> <p>2. 再度、地域おこし協力隊(ヘルスツーリズム)事業を問う</p> <p>(1) 「持ち込み提案」と答弁されたが、市側から依頼したのではないか。</p> <p>(2) 中途退任した理由を「基礎体温を上げ、免疫力を高める効果が期待できる特殊なタイルを足湯に持ち込み、効果測定を始めることになっていたが、それを飛び越し阿下喜温泉の中にタイルを入れ、45℃に上げたいと言われたので、そこに行き違いができた」とされたが、市長は、タイルを入れることを承認していたのではないか。</p> <p>(3) 事業は途中で終わっているが、国の補助対象になるのか。</p> <p>(4) 元隊員に支払われた費用は、適正なものといえるか。内訳は。</p> <p>(5) 本事業は所期の目的を達成したか。市長の評価は。</p>